

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		11 07 06	中期総合計画主要施策番号		2-06,3-09,5-07		担当課	部・課	建設部 都市計画課	
事業名		組合土地区画整理事業(公共【都市計画】)				内線		3359		
						E-mail		toshikei@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	機能的な都市構造と誰もが暮らしやすい快適な都市環境を創出するため、道路や公園など都市施設と宅地の一体的な面的整備を支援することにより、健全な市街地化を図り、住み良いまちづくりを目指す。								
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 市街地の拡大に伴う無秩序な開発など、都市基盤整備の遅れや拡散型都市構造が進んでいる。								
		【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 計画的な市街地の整備が遅れているため、全用途面積に対する土地区画整理事業による整備率が低い状況にある。								
		【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 道路、公園等公共施設の面的・一体的な整備を行うことにより、良好な生活環境を形成し、地区内外の都市環境の向上を図る必要がある。								
	事業内容	組合が行う土地区画整理事業における広域的な観点から必要な都市基盤施設の経費の一部に対して補助を行う 補助率 通常 (国1/2 県1/4 市町村1/4) 交付金 (国5.5/10 県2.25/10 市町村2.25/10)								
実施期間	S49 ~		根拠法令等							
成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価		
	地域環境に適した良好な住宅地の供給、及び道路、公園、下水道など公共公益施設の新設、改善を図ることにより、地区内外の都市環境の向上を図る。(平成24年度までに市街地整備面積を2,701haとする。)		平成24年度の目標達成に向けて、用途地域内における街地整備完了目標面積2522.4haの達成をすること。			用途地域内における市街地整備完了面積が2530.7haとなり、期待どおりの成果が得られた。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要			
	最終予算額 (A)		千円	310,000	210,000	120,000	国庫・県単 公共			
	決 算 額 (B)		千円	398,874	242,725		実施方法 補助			
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	90,197	55,113	27,000	歳出節別内訳等			
	概 算 人件費	従事する職員数	人	1.70	1.70	1.70	予算現額(最終予算額+繰越額等) 242,725 事業期間 11年			
	概算事業費 (B(H21はA)+C)		千円	398,874	242,725	120,000	(単位: 千円)			
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績			
	補助事業実施箇所数		箇所	1	1	1	H20年度完了箇所数 3箇所			
	組合事業全実施箇所数		箇所	14	13	13				
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明							
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	・良好な住宅地の供給と共に、都市基盤整備に対する必要性は引き続き高い。 ・効率的な都市基盤整備について支援を行うために県の関与は不可欠である。 ・コスト縮減や効率的な事業執行に努めている。			
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり					
	課題の総括		総合的な都市基盤整備を促進し、良好な市街地を形成するため、土地区画整理事業への支援を行う。効率的な補助となるように、計画やコスト縮減対策等の技術的支援を引き続き行う必要がある。							